



'To acknowledge the duty that accompanies every right'  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2020年1月 No.452  
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『40周年に向けた一歩』 国際会長 : 『より良い明日のために今日を築く』 アジア太平洋地域会長 : 『アクション!』 西日本区理事 : 『風となれ、ひかりとなれ』 中西部部長 : 『為せば成る』	会 長 : 中村 茂高 副会長 : 三浦 直之 書 記 : 大村 肇 ドライバー : 大村 肇 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 中村 幸枝 YMCA 連絡職員 : 船戸 輝久

## Biblical Message of January

「若者は幻を見、老人は夢を見る」  
 (使徒言行録 2 章 17 節)

### 世界平和への誓い

大村 肇

あけましておめでとうございます。昨年を振り返りますと、年号が「令和」に代わりその諸行事で日本中がお祝いムードにあふれていました。一方、地球温暖化現象で大型台風の度々の上陸や大雨による災害が多くみられた年でした。国連が提唱する「SDGs」への取り組みがここにきて大きく取り上げられようとしています。YMCA もワイスもその課題に向き合おうとしています。昨年大阪 YMCA 大会の「Y アフターフォーラム」でもワークショップをしました。YMCA 職員、ワイス、留学生が SDGs の各項目に分かれて討議をいたしました。私は、16番の「平和と公正をすべての人に」のグループで話し合いをしました。特に平和についてですが、日本が世界で唯一被爆国であるにもかかわらず日本政府は、北朝鮮の核・ミサイル開発などの「厳しい安全保障環境」を理由に核禁条約に背を向け続けています。昨年11月に訪日されたフランシスコ教皇は、被爆地の広島、長崎を訪れて核兵器の廃絶を強い言葉で訴えました。「核戦争の脅威で威嚇することに頼りながら、平和の提案ができるのか」とも問いかけています。また、「相互不信が対話を阻み、世界は分裂の中にある。世界は相互に結ばれており、共通の未来のためにそれぞれが排他的利益を後回しにすることが求められている」とメッセージされていました。人々が平和に暮らせる世界が実現できるよう祈りたいものです。

## January Club Meeting

### 『IBC/DBC』

#### 1月第1例会(中西部合同新年会)

日 時: 2020年1月11日(土) 12:00~14:00 (受付は11:30)  
 場 所: 大阪倶楽部会館(大阪市中央区今橋4-4-11)

<http://osaka-club.or.jp/access/>

〈交通の便〉

- ・京阪/大阪メトロ・淀屋橋駅9・10番出口徒歩5分
- ・大阪メトロ・肥後橋駅5-A出口徒歩8分

ホスト: 大阪西クラブ

ゲスト演奏: 堀江中学吹奏学部

会 費: 1人8千円(当日、クラブで徴収)

お誕生日: 武田かおる、中村幸枝、中井祥子の各メネット、中村茂、三浦の各メン

\*3月例会時にプレゼントをお渡しします。

#### 1月第2例会

日 時: 2020年1月22日(水) 18:30~20:30  
 場 所: 土佐堀YMCA会館4階



## 【クラブ統計 Statistics】

12月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	10名	6名	12月 0g	12月 12,500円
例会出席 10名	メネット	2名	0名	現 金 0円	
うちメーキャップ	ビジター	2名	0名	累 計	
0名	ゲ ス ト	0名	0名	切 手 204g	累 計: 62,600円
出席率 55.6%	合 計	14名	6名	現 金 0円	オーション 1,500円

## 【今月の聖句】

イエスが十字架にかけられた後、「すべてが終わったのではない」と、使徒行伝はまさしく、「新しい歴史の始まり」を告げています。

使徒ペテロは人々に「精霊の働きにより、若者は明るいビジョンを語り、老人は期待に胸をふくらませ、老後の心配、死への恐怖がなくなる」と述べています。新しい年の始まり、若いも若きも、混迷する世界を、泰然と臨みたいものです。

(聖句選/コメント: 中村 茂高)

## 12月第1例会報告(合同例会)

と き: 12月11日(水) 18:45~20:45

ところ: 宝塚ホテル

12月クリスマス例会が、3クラブ合同(センテニアル、大阪土佐堀、宝塚)で大勢の参加でにぎやかに行われました。参加者はセンテニアル14名、土佐堀12名、宝塚36名、総計62名でした。例会に先立ち自由参加で18:00からホテルチャペルにてクリスマス礼拝があり、宝塚教会の浦上牧師により「地に平和」の祈りをお聴きしました。

礼拝の後、例会が宝塚クラブ多胡会長の開会点鐘で始まり、ワイズソング、出席者紹介、食前感謝と続き、乾杯、晚餐と進みました。テーブル毎に歓談とともに食事を大変美味しくいただきました。続いてお楽しみ会に移り、各クラブのパフォーマンスを楽しみました。

先頭は土佐堀クラブの福島メンのハーモニカ演奏で懐かしい「異邦人」を、次にセンテニアルのウクレレ演奏「カイマナヒラ」「アロハオエ」「月の夜は」、でレイが決まっていました=写真。

次に宝塚クラブのハワイアンとフラ。優雅なフラと衣裳が素敵でした。そして神戸ポートの大野メンのギター弾き語り「笑顔と共に」。いつものようにノリが素晴らしいです。最後は、みんなで“ハワイアロハ”を大きな円になって歌いました。その後お誕生祝い、アピールタイムと続き、土佐堀クラブの工藤会長の閉会点鐘で閉会となりました。

いろいろご準備してくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。レイ(礼)に始まりレイで終わった心温まる和やかな例会でした。

(三浦 直之)

## ≡≡≡≡ Club Activities December 2019 ≡≡≡≡

As we near the end of 2019, the Takarazuka Y's Men's Club, together with the Osaka Centennial and the Tosabori clubs – three clubs had joint December meeting at Takarazuka Hotel on Wednesday, December 11<sup>th</sup>.

Following Christmas Service held at the hotel Chapel, where the message was given by Rev. Yuji Urakami – a total of 62 Y's Men members and their family members gathered to join celebration of Christmas – there were a variety of entertainment programs including dinner, music playing, hula dance, etc. to enjoy fellowship.

All the information about coming New Year events was shared among us.

It was indeed an enjoyable evening. Knowing this is a final gathering at the Takarazuka Hotel, as it is announced it be demolished shortly, we wished them all good Y's experiences to come in 2020.

Kan Tanikawa



谷川 寛

10月初め“Capacity Strengthening for multi-media mercury monitoring”というテーマのグループを担当しました。このグループは9名=写真。そのうち、男性1人(メキシコ)を除いて、あとは全員女性というグループでした。すべて環境関連の役所に所属する若い人々で、多くは欧米での留学経験のある英語が堪能の人々でした。大変活発な意見が出ました。

彼らから日本は人口減少に直面している、と聞くと、どのような対策が採られているのか、自分たちは技術系だが、日本で将来働ける可能性があるのか、日本の若者は将来のための資産形成をどのようにしているのか、などなどの興味ある質問がありました。

資産形成の質問に関しては、逆に彼女らの国々の事情を尋ねてみると、インドネシア、マレーシア、などイスラム系の国々では、相変わらず”金”(Gold)選好が強く、自宅に保管するのではなく、銀行の貸金庫に保管するとの回答でした。自国通貨建ての預金は、インフレを理由に、運用ゼロに近く、むしろ、米ドル建て預金選好が優先順位の上位でした。自国通貨への信頼はまだ低いようです。“金”投資は、利息を生みず、その欠点を指摘しても、彼女らの国では安全資産である金投資の魅力が高まっているようです。どうやら同じことが最近の日本にも当てはまるようで、トランプ政権の誕生以来、政策の不透明感が“金買い”につながっている、と言えそうです。

人口減少の一つの理由である少子化の傾向は、アジアの国々でも一般的で、Fertility rate(女性が一生に産む子供数)も大幅に落ちており、昔のように子沢山の家族は少なく、参加者の彼女らも1人か、2人の子供しかもたない、との答えでした。理由は教育費の負担増です。競争社会に突入しており、高い教育を受け、スキルを持たないと子供たちも生き残れないとの、答えが返ってきました。イスラム社会でも、競争社会に突入して来ている現実があります。



## 12月第2例会報告

と き：12月4日(水) 18:30~19:30

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、岡本、芝田、中村茂、三浦

### 〈今後の例会〉

2月=藤原さんを偲ぶ会 2/16(日) 15時~

3月=「難病を越え、音楽で愛と癒し」石原雅之さん

4月=「日露交流史」JICA・エルマコフさん

5月=「現代の日韓文化交流」藤井幸之助さん

### 〈クラブ活動〉

2/1(日) チャリティーボウリング大会(弁天町グランドボウル) 17時集合。インターナショナルハイスクール1チーム支援。

(第2例会議事録より抜粋)

## YMCA ニュース

### ☆第321回早天祈禱会☆

日時…1月17日(金) 7:30~8:30

場所…大阪 YMCA 会館 10階チャペル

証し…宇埜充洋・大阪 YMCA ウェルネス事業部責任者

### ☆2019年度中日本グローバル教育研修会☆

日時：2月1日(土) 13:00~2日(日) 15:30

場所：六甲山 YMCA グローバルラーニングセンター

参加費：10,000円(1泊3食、六甲山 YMCA への送迎バス代は、別途2,000円必要)

内容：ジェンダーと平和

講師：ロニー・アレキサンダー・神戸大学大学院国際協力研究科/学長補佐(ダイバシティー担当)/男女共同参画推進室室長、神戸 YMCA 国際委員長

申込方法：所属 YMCA を通じて1月17日(金)までに大阪 YMCA (担当：田尻)にお申込みください。

申込先：大阪 YMCA グローバル事業推進室担当：田尻 (TEL:06-6441-5088)

E-mail: [tajiri-tadakuni@osakaymca.org](mailto:tajiri-tadakuni@osakaymca.org)

※ワイズメンの参加も可

### ☆『2020年度年間聖句・年間讃美歌』募集

年間聖句・讃美歌は、大阪 YMCA における会合に提示され、多くの機会に唱えられます。YMCA に集う人々が、親しみを持って口ずさむことのできるものであることを願っています。多くの方々からの応募を心よりお待ちしております。

応募内容：YMCA に集う方々にとって親しみを感じる  
年間聖句・年間讃美歌

応募締切り：2020年1月10日(金)

応募方法：応募用紙をホームページよりダウンロードの上、下記までお申し出ください。

HPアドレス <http://www.osakaymca.or.jp/>

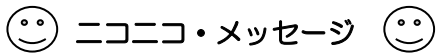
応募先：大阪 YMCA 本部事務局 担当：貝・前田

### ☆YMCA ピンクシャツデー2020

今年も全国 YMCA と共に、「いじめのない世界をめざす」ピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)を実施いたします。ピンクシャツデー…2020年2月26日(水)締め切り

船戸 輝久





ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club】

## 《会員、メネットからのメッセージ》

○賑やかで楽しい例会でした。多くの人数の例会は良いですね！！ (石津 雅人)

○3クラブの合同例会、多くの参加者と一緒に楽しい時間を持つことができました。また、このような企画をしたいですね。

(大村 肇)

○年末のあわただしい中、ほっとする時間を過ごせました。ありがとうございました。(岡本 剛介)

○Xmas 例会で無事？ウクレレ弾くことができ、ホッ！！としました。(坂本 千春)

○歴史有る宝塚ホテルでの、思い出に残る3クラブ合同の楽しいクリスマス例会でしたネ！準備して頂いた各クラブの皆様  
に感謝です。(芝田 光雄)

○三つのクラブ合同クリスマス例会は、最後の会場となる宝塚ホテルで、楽しい集いでした。(谷川 寛)

○役者ぞろいのクラブ合同で、一足早いクリスマスを満喫しました。(中村 茂高)

○とても楽しい例会でした。一年は本当に早いですね！

(何 早林)

○楽しい会でした。他のクラブの皆さんとの交流も善意がありますね。よかったです。(松浦 幸次)

○クリスマス礼拝の浦上先生のお話とてもよかったです。合同例会、ハーモニカ、ウクレレ、フラ等楽しいでした。宝塚ホテルは古くなり新しく建てかわりましたが、結婚式をしたなつかしいホテルです。(松浦 和子)

○Merry Christmas！心豊かな祈りの時を待てました。センチニアル、宝塚、土佐堀の三クラブ合同例会の盛会を祝して・・・(三浦 直之)

○A Merry Xmas！Lovely Donation！(山中 秀男)

## 編集後記

あけましておめでとうございます。

皆さんも、穏やかな正月を迎えられたことと存じます。12月11日のクリスマス合同例会を終えた翌々夜、あわただしく行ったミャンマーでしたが、からりとした晴天続きの30度以下の気温はとても快適でした。食べ物もおいしく、「ナマズのだしでつくった麺料理モヒンガーは朝はいいが、昼からのモヒンガーは食あたりするかも」と隆幸メンの忠告を守り無事帰国しました。子どもも若者も人なつっこい笑顔がとてもステキでした。

Shige

## 40周年記念事業関連トピックス

今後、周年事業にかかわる記事を取り上げていきたいと思います。

### ★FOP（進行性骨化性線維異形成症）支援



明石、大阪など15校の高校生たちが、難病研究に役立ててもらおうと、12月13日に街頭募金をし、438,279円全額を、同27日に京大iPS細胞研究所に寄付しました。これは15年当時、明石商業高校3年生だった、FOP患者の山本育海（いくみ）さんを支援しようと、明石市内の高校生徒会が始めたもので、先輩から後輩に引き継がれ、その支援の輪は広がっています。三浦メンと参加、高校生たちの熱い思いに触れました。

### ★ミャンマー支援



12月11日帰国された中村隆幸メンとすれ違いに、13日から19日まで、YMCAの教育支援プロジェクトで、YMCA幼稚園の先生たちと、ミャンマーのマングレーに行ってきました。同YMCAが運営する保育園とヒトセンターを訪問。ヒトセンターでは、隆幸メンをよく知る若い人たち15名余りと交流。とても親しみをもって迎えてくれました。

中村 茂高